

●構成と目標年次

総合計画は、基本構想と基本計画で構成します。

基本構想とは

本市が目標とすべきまちの将来像と、その実現に向けた基本的な考え方やめざすまちづくりの方向性を示しています。

計画期間は、平成 27（2015）年度を初年度とし、10 年間とします。

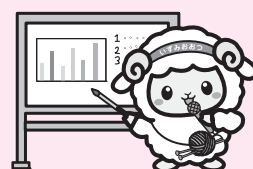
基本計画とは

基本構想を踏まえ、まちづくりの分野を「子ども・子育て支援」や「防災・消防」などの 31 項目に分類したうえで、それぞれのめざす姿とその実現に向けて取り組む内容を示しています。

計画期間は、平成 27（2015）年度を初年度とし、10 年間とします。なお、社会情勢の変化などを踏まえ、5 年後に見直しを行います。

「総合計画」をわかりやすく解説！

皆さんが、将来の夢を持ち、その実現に向けてさまざまな計画を立てるのと同じように、「**泉大津のまちが、将来こんなふうになっていたらいいなという姿と、その実現に向けて取り組むことをまとめた計画**」です。



一 基本構想 一 まちづくりの基本理念と将来像

本市がめざすまちづくりについて、中学生会議や学生会議、市民会議から提言を受けました。この提言をもとに、まちの将来像とまちづくりを進めるうえで大切にしたい3つの基本理念を、次のとおりとしています。

3 つ の 基 本 理 念

「コンパクト」の視点

平坦で小さな市域であるがゆえに市民や団体・事業者、行政の間の距離が近いことや、関西国際空港や港湾、大阪都心部との距離が近いことは、本市の個性であり特長です。

なんでも近いことが生み出すコンパクトさは、本市のかけがえのない資質であり、市域を越えて躍進する力を備えています。将来にわたって、これを活かすとともに、さらに磨きをかけ、発展させるまちづくりを基本とします。

「活力・共創」の視点

誰もが輝くまちとして、市民が主体となったまちのにぎわいづくりや、企業や大学、近隣自治体と連携した、地域や産業活性化に向けた取り組みを進めます。また、市の特性や利点をさらに伸ばし、これらを広く情報発信するなど、市民と行政がともに手を取りあい、高め合うことで、新しい価値を創造し、活力あるまちを共に創り上げることを基本とします。

「安全・安心」の視点

泉大津がええとこであるために、市民の生活や活動を支える基盤として、市民が安全に安心して健やかに暮らし、活動することのできる環境の確立を基本とします。

ま ち の 将 来 像

住めば誰もが輝くまち 泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～

3つの基本理念を踏まえ、市民一人ひとりが、自分たちの住むまちに誇りを持ち、快適で機能性の高い都市環境の中で、安全に安心して健やかに暮らしていくことのできるまちをめざし、まちの将来像を設定するものです。

●4つのまちづくりの方向性

きょうどうによる
コミュニティづくり

世代をこえて
手を取り合うまち

自分たちで育て、
自分たちも育てられるまち

今あるものを活かし
誰もが惹きこまれる
ひらかれたまち



まちの将来像の実現に向けた取り組みを、4つのまちづくりの方向性として記載しています。このまちづくりの方向性は、市民会議において、まちの将来像の検討過程で、イメージとして出されたキャッチフレーズをもとに決めたものです。



まちの将来像のイメージ図

誰もが輝くまち「いずみおおつ」の実現に向けて

第4次泉大津市総合計画を策定しました

本市では、人口減少社会の進行をはじめとする近年の社会情勢の変化に対応し、将来における本市のあるべき姿と進むべき方向を示す基本的な指針として、このたび、第4次泉大津市総合計画を策定しました。

●策定経過

直接的な市民参加を策定の特長の1つとし、市民会議を中心に、市民アンケート調査や各種団体ヒアリング調査、パブリックコメントなど、幅広く市民の皆さまのご意見をいただきながら、策定に取り組みました。

また、市長の諮問機関である総合計画審議会や庁内検討組織である策定委員会や分野別部会などでの議論を重ね、計画策定に至ったものです。

市民参加

市民アンケート調査

関係団体ヒアリング

市民満足度調査

パブリックコメント

市民会議



市民会議



中学生会議



市民フォーラム



学生会議



シンポジウム

総合計画審議会



行 政

総合計画策定委員会【市職員（部長級）】

総合計画策定専門部会【市職員（課長級）】

総合計画策定分野別部会【市職員】



主な策定経過一覧

	市民参加		行 政
平成25年度	市民アンケート調査	中学生会議の開催	策定委員会の開催（計 15 回）
	学生会議の開催（計 4 回）	市民会議の開催（計 3 回）	策定専門部会の開催（計 4 回）
	市民フォーラムの開催		策定分野別部会の開催（計 35 回）
	市民参加	審議会	行 政
平成26年度	市民満足度調査	審議会の開催（計 5 回）	策定委員会の開催（計 24 回）
	パブリックコメント	中間答申の提出	策定専門部会の開催（計 3 回）
	シンポジウム	答申の提出	策定分野別部会の開催（計 21 回）



4. 安全で心やすらぐまちづくり

(防災・消防、防犯、消費生活)

<めざす姿>

- 市民とともに作る災害に強い安全なまち
- 犯罪を未然に防ぎ安心して暮らせるまち
- 消費者が安心して生活できるまち

<施策の展開方向>

- ・セーフコミュニティ活動の推進
- ・防犯のための環境整備
- ・自立した消費者の育成 など



消費者団体による商品量目調査

5. コンパクトで居心地のよいまちづくり

(住環境、臨海部、環境保全、道路・交通、公園・緑地・河川、上下水道)

<めざす姿>

- 住みやすさと優しさを次世代へと引き継ぐまち
- 人・もの・情報が集まる、美しい港があるまち
- 身近な環境を守り未来につながるまち
- 安全安心で快適に移動できるまち
- 人の集う公園・緑・水辺のあるまち
- 安定したライフラインの整ったまち

<施策の展開方向>

- ・便利な暮らしを支えるまちづくりの推進
- ・新たな企業の誘致
- ・公害防止対策の推進
- ・安全な道路空間の整備
- ・地域の活動や外遊びの拠点となる公園づくり
- ・水道水の安定供給 など



堺泉北港（泉大津旧港地区）

6. 誇れる・選ばれる・集えるまちづくり

(商工業、観光、農業・漁業、労働環境)

<めざす姿>

- 人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち
- 地域資源を守りながら新しい風を感じさせるまち
- 食を身近に感じる産業を育むまち
- 誰もが夢を持ち働きやすいまち

<施策の展開方向>

- ・地域産業の振興
- ・地域資源を活用した観光の推進
- ・次世代経営者への経営環境の提供
- ・安心して働ける職場環境の整備 など



泉大津フェニックスにおける野外コンサート



市民と市長が対話するタウンミーティング

■進行管理について

各基本施策には、計画の進み具合を押し量るものさしとして、現状と5年後、10年後の達成目標(成果指標)を設定しています。この成果指標について、定期的に数値を把握、評価し、見直しを行うなど、PDCAサイクルによる進行管理を行います。

■総合計画の冊子および概要版の発行について

計画の全文は、ホームページをご覧ください。冊子および概要版は、6月ごろに印刷、発行を予定しています。

問合 企画調整課（市役所4階）

一基本計画「住めば誰もが輝くまち」を実現するための7つの政策

基本計画は、まちの将来像の実現に向けて、4つのまちづくりの方向性に沿って取り組む内容を、7つの政策と31の基本施策として示すものです。基本施策ごとに、めざす姿や施策の展開方向、取り組みの事例、成果指標、市民・団体・事業者・行政などの協働の考え方を記載しています。

1. 力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり

(市民参画・協働、地域コミュニティ、男女共同参画、人権・平和、多文化共生)

<めざす姿>

- 市民が主体に活躍できるまち
- 地域がつながり地域で課題解決できるまち
- 誰もが能力と個性を発揮できるまち
- 思いやりを持ち人権が尊重されるまち
- 多様な価値観を共感できるまち

<施策の展開方向>

- ・市民協働の推進
- ・地域コミュニティのネットワーク化の促進
- ・男女共同参画社会の実現に向けた環境整備
- ・人権教育・啓発の推進
- ・多文化共生をめざすまちづくり など



外国人のための防災訓練

2. 学びあうひとづくり彩りあるまちづくり

(就学前・学校教育、青少年育成、生涯学習、文化・芸術・スポーツ)

<めざす姿>

- つながりある学びと育ちを大切にするまち
- 青少年が夢を持って社会参画できるまち
- すべての世代が学びあい育ちあえるまち
- 暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまち

<施策の展開方向>

- ・学習環境の整備・充実
- ・健全育成の環境づくり
- ・学習活動の支援および学習環境の充実
- ・歴史的・文化的資源の保存と活用 など



桜まつりの企画・運営をする大学生

3. 誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり

(子ども・子育て支援、地域福祉、高齢者福祉、障がい福祉、保健・医療)

<めざす姿>

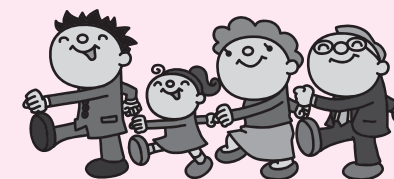
- 笑顔で育ち育てられるまち
- ぬくもりの手と手をつなぐまち
- すこやか安心長寿のまち
- 共に支えあい共に生きるまち
- 健康で心豊かに暮らせるまち

<施策の展開方向>

- ・子どもを安心して産み育てられる環境づくり
- ・地域福祉の意識の醸成と人材の育成
- ・介護予防の推進
- ・障がい者の日常生活および社会生活に対する総合的な支援
- ・健康づくりの推進 など



くすのき認定こども園



■協働の考え方について

各基本施策には、市民や団体・事業者などと行政による協働のもとで、各取り組みを進めるにあたり、それぞれが担う役割を例示しています。

この協働の考え方のもと、市民の皆さまと共に、10年後のめざす姿の実現に向け、より良いまちづくりを進めていきたいと考えています。

■計画の推進について

各施策を計画的に推進するため、総合計画に即して、その他の個別計画を策定、事業の実施などを行います。

また、各基本施策の内容に沿って、取り組む事業の順番を考え、必要な経費を予算化し、市議会での承認を経て、事業として実施していきます。

平成 27 年度の主要な施策として、次の事業に取り組みます

力を合わせて市民の笑顔が あふれるまちづくり

◆市民活動に関する相談機能の充実と地域人材育成

市民が主体となったまちづくりの実現に向け、市民活動支援センターを拠点に、市民活動団体のネットワーク化や NPO 法人設立のための支援、市民活動に関する相談機能などを充実させるとともに、地域で活動する人材の育成に努めるなど、市民の意見や活動がまちづくりに反映される取り組みを推進します。

◆リトアニアとの交流

昨年 11 月に、泉大津商工会議所が、経済発展とビジネス交流を促進することに基づきリトアニアのカウナス商工会議所と相互協力合意書を交わしたところ。本市としましても、多様な価値観を共感できるよう国際交流を推進するため、海外友好都市としての提携を視野に入れ、現地視察を行い、交流に向けて友好を深めます。

◆男女共同参画推進計画の 次期計画の策定

第 2 次男女共同参画推進計画の次期計画を策定し、意思決定の場への女性の参画を推進するなど、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進します。



誰もがすこやかにいきいきと 暮らせるまちづくり

◆充実した就学前教育・子育て環境の提供

公立 2 園目となる、かみじょう認定こども園を開園するとともに、3 園目となる仮称えびす認定こども園増改築工事の基本設計をはじめ、くすのき認定こども園の耐震改修工事および便所改修を行い、充実した就学前教育・子育て環境を提供します。

◆発達支援担当の設置

障がい児者の発達およびライフステージに対応したシームレスケアの一環として、発達支援担当を設置し、ライフステージが変わっても支援が途切れることのないよう関係機関とのコーディネートを行うなど、継続して相談できる体制を強化します。

◆「仲よし学級」の充実

安心して子どもを預けることができるよう、「仲よし学級」の対象児童を小学校 6 年生まで拡充するとともに、学校長期休業中の朝および土曜日の開設時間を延長し子育て支援サービスの充実を図ります。

◆妊婦健康診査助成の大幅拡充

子どもを安心して産み育てられる環境づくりとして、妊婦健康診査への公費助成は、その助成額を大幅に拡充し、経済的負担の軽減と定期受診による疾病の早期発見と健康管理を図ります。

学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり

◆教育振興基本計画の策定

本市教育の中長期的な目標や基本的な方向性を明らかにする教育振興基本計画を策定します。

◆学校力の向上

学校教育の充実のため、「学力向上」、「小学校 1 年生のスタートカリキュラム」、「総合学習の充実」を 3 つの柱とした学校力の向上を図ります。

全小中学校区における小学校 3・4 年生を対象とした家庭学習支援を、3 年生から 6 年生までに拡充し基礎学力の定着を図ります。

◆子どもの居場所づくり

子どもの居場所づくりとして、現在行われている戎小学校図書室地域開放事業を、さまざまな体験活動や地域住民との交流活動などの拠点になるよう推進します。

◆安全・安心で快適な学習環境の提供

老朽化した旭小学校の建て替え工事を引き続き行うとともに、3 中学校体育館の非構造部材の改修を行います。



◆こども医療費助成の拡充

子育て世帯への経済的支援の拡充を行うため、こども医療費助成事業の通院対象年齢を小学校 3 年生から 6 年生まで引き上げます。

◆子育て世代の女性の健康づくりを応援

子宮がん検診の対象を 20 歳以上のすべての人に拡大します。さらに、「39 (サンキュー) 健診」の名称で健康診査、子宮がん検診、骨の健康チェックをセットにした健診や、一時保育付きの運動講座も実施します。

◆コミュニティソーシャルワーカーの拡充

コミュニティソーシャルワーカーの配置を市内 4 か所に拡充し、高齢者、障がい者、ひとり親家庭のほか、あらゆる要支援者、またはその家族・親族などへの個別支援や公的機関へのコーディネートを行います。



かみじょう認定こども園



平成 27 年度 泉大津市 施政方針

平成 27 年度の市長の市政運営に対する理念や基本的な考え方を、施政方針としてお知らせします。全文は市ホームページをご覧ください。 問合せ 企画調整課（市役所 4 階）



「住めば誰かが輝くまち
泉大津」の実現に向けて

泉大津市長 伊藤 晴彦



任期 3 年目にあたって

市民の皆さまから力強いご支援をいただき平成 25 年 1 月 13 日に市長に就任し、早くも 2 年が経過いたしました。平成 27 年の干支は、泉大津市と関連深い未（ひつじ）です。羊の漢字は「良い」という意味をもつ祥（しよ）に通じますが、私もこの 2 年余りの積み重ねを糧に、より良い年となるよう、さらに奮励努力してまいります。

就任以来、私が心に描く本市の将来像としてお示した「今日よりも明日を心豊かにする、誰もが住みつづけたまち」を、市民の皆さまとともに築き上げていくことが使命と考え、市民、議会の皆さま、市職員とともに、まちづくりを進めてまいりました。その結果、まず、本年 1 月にテクスピア大阪にオープンいたしました市民活動支援センターは、私が掲げました地域コ

ミュニティの再構築の一つの過点となるものと考えております。

また、大阪府内の公立で先駆けとなった認定こども園の開園、市立病院の経営状況の改善、安全・安心なまちづくりをめざし国際認証の取得に取り組むセーフコミュニティ活動など、市民の皆さまに暮らしやすさと地域コミュニティの意義を実感いただける成果が、少なからず表れているものと感じております。泉大津商工会議所との連携のもと空き店舗の活用による商店街の活性化および高齢者の買い物の利便性を図る店舗のオープンなど、皆さまの暮らしに直接かかわる取り組みも進めているところです。これらについては、まだ道半ばのものもあり、平成 27 年度も引き続き取り組んでまいります。

さらに、第 4 次泉大津市総合

計画に基づく行政運営が、間もなくスタートするところでございます。地方自治体における総合的かつ計画的な行政運営を図るための方針が総合計画です。ことに本市は、市民と行政が市の将来像を共有し、まちづくりを進めていくための計画と位置付けており、その策定過程において市民の皆さまに直接ご参加のうえ、ご提案いただいた「住めば誰かが輝くまち 泉大津」なんでも近いでええとこやで」を、市の将来像として採用したところでございます。これは、私がかつてお示した「誰もが住みつづけたまち」を、市民の皆さまが、よりわかりやすく、あわせて本市の特長を巧みにとらえた言葉として、まさしく市の将来像にふさわしいフレーズであると考えております。

平成 26 年度の施政方針をお示しする際、幕末の思想家、教育

者として知られる吉田松陰の格言「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」を、市政の運営にあてはめて引用いたしました。第 4 次泉大津市総合計画の策定により、市民の皆さまと共有できる夢と理想、さらには計画を明らかにできたと考えております。

平成 27 年度の 主要な施策について

「住めば誰かが輝くまち 泉大津」を実現していくためには、「なんでも近い」という市の特長を活かし、泉大津市は「ええとこ」であると皆さまに実感いただくことが、市長である私に課せられた大きな責務であります。そのために、総合計画の基本計画として掲げました 7 つの分野に沿い、主要な施策をお示しいたします。

※主要施策は、左ページ以降でご紹介します。

皆さんからいただいたご意見を参考に、保健・福祉に関する4つの計画を策定しました 市民の声を反映した泉大津の保健・福祉計画

市では、基本的な計画などを策定するときに、市民の皆さんからご意見をいただき、そのご意見を考慮したうえで、計画を策定します。今回ご紹介する計画は、以前に皆さんからご意見をいただき、そのご意見を反映し策定した計画です。各計画は市のホームページでご覧いただけます。また、計画書を公共施設などに置く予定です。詳しくは、担当課へお問い合わせください。

第2次健康泉大津21計画・第2次泉大津市食育推進計画

市の健康や食育を取り巻く状況・課題などを踏まえ、市民一人ひとりの健康づくりや食育を推進するために平成27年度から5年間の計画を策定しました。詳しくは、10ページをご覧ください。

健康泉大津21計画

「がん・生活習慣病対策の推進」「子育て世代の健康づくりの推進」「地域で取り組む健康づくりの推進」を重点施策に、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりへの支援に取り組んでいきます。

泉大津市食育推進計画

子どもを中心とした「体験活動を通じた食育の推進」「食を通じた規則正しい生活習慣、食生活づくり」「食に関する情報発信の仕組みづくり」を重点施策に、ライフステージに応じた取り組みを進めていきます。

問合 保健センター (☎33・8181)

互いに尊重し合い、障がいのある人が地域で安心して暮らせる共生のまちづくり」の実現に向け、障がい福祉の推進に取り組んでいきます。

問合 障がい福祉課（市役所1階10番窓口）

泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成27年度から平成29年度までの高齢者の保健福祉施策と介護保険事業を円滑に実施するため計画を策定しました。

計画では、本市に住むすべての高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができるための取り組むべき課題や目標を記載しています。

問合 高齢介護課（市役所1階8番窓口）

いずみおおつ子ども未来プラン

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、本市で生まれ育つすべての子どもが健やかに成長する環境と、地域全体で子育てを支える取り組みの充実を図るため、平成27年度から5年間の計画を策定しました。

計画の基本理念である「笑顔で育ち育てられるまち」の実現のため家庭、保育所、幼稚園、認定こども園、学校、関係機関、地域そして行政が一体となって、子育て支援の推進に取り組んでいきます。

問合 こども未来課（市役所1階3番窓口）

5時15分まで)
募集内容 ■公園墓地（板原町5丁目）
募集区画 返還区画30区画
区画の大きさ 1.76㎡(間口1.1m×奥行1.6m 巻石含む)
永代使用料 56万円
管理料 1万3,000円(年2,600円を5年分一括納付)
抽選日時 6月22日(月) 午前10時
納付期間 6月30日(火)～7月10日(金)
使用開始日 7月中旬ごろ(使用許可証の交付日から)

■春日墓地（春日町）
募集区画 未使用区画40区画
区画の大きさ 1.20㎡(間口1.0m×奥行1.2m 巻石含む)
永代使用料 43万5,600円(管理料含む)
抽選日時 6月23日(火) 午前10時
納付期間 6月30日(火)～7月10日(金)
使用開始日 7月中旬ごろ(使用許可証の交付日から)
問合 市民課（墓地組合事務局 市役所1階4番窓口）

公園墓地・春日墓地

墓地の利用者を募集します

申し込みは、5月19日(火)から29日(金)まで。

今年度も、次のとおり墓地の利用者を募集します。

申込資格 平成26年5月29日までに住民登録をしている人で、直系2親等内の親族・配偶者またはその親の遺骨がおり、墓地のない人

申込方法 市民課にて配布する申込用紙に必要事項をご記入のうえ、必要書類をそろえて提出。墓地区画については抽選
なお、重複の申し込みはできません。

申込用紙交付期間 5月12日(火)から市民課窓口にて

申込期間 5月19日(火)～29日(金) (午前8時45分～午後

平成27年度の主要な施策として、次の事業に取り組みます

安全で心やすらぐまちづくり

◆セーフコミュニティ活動の推進

地域コミュニティの再構築と国際基準の安全で安心なまちづくり、この双方に対応し得る有効な取り組みであるセーフコミュニティ活動につきましては、本市での状況を分析し、市民、地域団体、自治会、事業者など多くの皆さまのご参加のもと、6つの対策委員会が活動を開始しました。平成27年度は、この対策委員会において継続的な取り組みを進め、認証取得を見据えた事前審査を開催します。

◆自主防災組織活動への補助の拡充

自主防災組織活動の活性化については、訓練に要する経費のほか、防災資機材の更新や修繕などのために、補助金の拡充を行います。

◆消防庁舎の移転整備にかかる基本設計の実施

防災中枢拠点でもある消防庁舎は築45年が経過しており、津波浸水想定区域内にあることから、最適配置を行うため移転整備に係る基本設計を実施します。

◆防犯カメラ設置補助制度の創設

犯罪を未然に防ぎ安心して暮らせるまちをめざすため、自治会に対し防犯カメラ設置補助制度を創設することにより、犯罪が発生しにくい環境整備を促進します。



消防本部

誇れる・選ばれる・集えるまちづくり

◆誇れる特産品をPR

本市は国内有数の毛布やニット、毛織物などの生産地です。これらの特産品を本市の「地域ブランド」と位置づけ、国内外に広くPRするとともに、「シェア日本一」などの特産品を持つ各地の自治体とネットワークを組み、「ナンバーワン」にこだわった集客イベントや他の自治体と相互に特産品をPRする事業などを行います。

◆地域産業の振興

地域産業の振興のため、毛布やニットをはじめとする地域産業関連団体やグループなどが実施する販路開拓や新商品、新技術開発、人材育成および確保などの施策を促進するとともに、地域の活性化に努めます。

コンパクトで居心地のよいまちづくり

◆安全・安心な住まいづくり

安全・安心な住まいづくりのため、引き続き民間木造住宅の耐震化および定住促進住宅リフォームの助成を推進します。

◆道路・公園照明設備のLED化

温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みとして、道路照明灯および公園照明設備のLED化を図ります。

◆ヘルメット購入費の一部助成

交通安全対策として、自転車を利用する高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、ヘルメット購入費の一部を助成します。

◆港湾トップセールスの推進

泉大津港のさらなる振興発展につきましては、私みずからが先頭に立ち、昨年実施した港湾トップセールスの成果を具体的なビジネスマッチングへと繋げていくとともに、第2回目の港湾トップセールスを行います。



健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス

◆積極的な歳入の確保

積極的な歳入の確保の取り組みについては、大阪府域地方税徴収機構への参加により、高額で徴収困難案件の解決に取り組めます。また、債権管理の一元化については、まず、市税と国民健康保険料についてシステムを構築の上、実施します。

◆公共施設の適正配置に向けた基本計画の策定

平成26年度に策定した泉大津市公共施設適正配置基本方針に基づく基本計画の策定作業を開始します。

◆パスポート発給窓口の設置、番号制度へのシステム整備

パスポート発給窓口を平成27年10月から市役所内に設置するとともに、平成28年1月から利用開始される番号制度について、円滑な実施ができるようシステムの整備を行います。

◆市政の情報発信の充実

市政の情報発信については、広報紙の内容の充実のため、モニター制度を導入します。平成26年度に8回実施したタウンミーティングにつきましては、市政への要望やニーズを把握するため、引き続き実施します。



タウンミーティングの様子